



2022年度 11月号
尚徳福社会 おぐら保育園

衣替えと共に時折肌寒い風がほほを打ち、子どもたちからも『冬が来ているね』と声が聞こえてきます。また、夕暮れが早くなり夕方園庭で遊んでいるとみるみる日が暮れる様子を見て『すぐに夜になっちゃうね』と冬の訪れを感じています。寒さに負けず、身体いっぱい動かしていきたいと思います。



☆遠くまで飛ぶかな？☆

折り紙で紙飛行機を作り、飛ばすことが流行っています。どのようにしたら遠くに飛ばすことができるのか？子どもたちで考えていました。中には、家で遠くに飛ばすやり方を調べてみんなに教えている子の姿も見られました。紙飛行機が完成するとホールに移動をして誰が一番遠くまで飛ばせるのか勝負をしていました。飛ばし方にもコツがあるようで紙飛行機のどこを持つのか？何度も飛ばしながらコツを掴んでいた子どもたち。うまく飛ばないと、よく飛ぶ子の紙飛行機を見て、作り方を真似して、遠くに飛ばすことができると『とんだとんだ』と喜んでいました。当分は紙飛行機飛ばしが流行りそうです。

☆どんぐり拾い☆

たんぼ組と新鶴見公園に行ってどんぐり拾いをしました。公園に着くまでに、大きいマンションやサミット、島忠を見つけると『お休みの時〇〇で〇〇したんだよ』と友だちに話をして盛り上がっていました。公園に着くと大量のどんぐりが落ちているのを発見『袋ちょうだい』と夢中で拾い集めていた子どもたち。袋がパンパンになるまで集め、中には近くにいた小さい子にあげる子もいました。たくさん集めると袋に穴ができ、そこからどんぐりが落ちていく様子を見て『トトロみたい』と笑い合っていました。どんぐり拾いを通して、秋の自然に触れることができました。

☆ハロウィン制作☆

折り紙でカボチャやコウモリを作りました。ハロウィンについて由来など伝えると『おかしもらえるんだよね？』『おかしをくれないと、いたずらしていいんだよね』と嬉しそうに話をしていました。折り紙でカボチャを作ると『こう？あってる？』と確認しながら折っていき、途中でわからなくなると子ども同士で教え合っていました。作ったカボチャやコウモリを黒画用紙に貼っていき、周りに白クレヨンでお城を描いたり、ガイコツを描いたりとちょっぴり怖いハロウィン制作ができました。完成した作品を保育室に飾るとお迎えにきた、お家の方に『これはねー』と一つ一つどのように作ったのかを説明する姿が見られました。

☆芋掘り☆

芋掘りの日まで水やりや雑草抜きをし、子どもたちは『26日は芋掘りだね』『芋大きく育っているかな』と芋掘りを楽しみにしていました。当日は、朝から『今日は芋ほりだ』と気合十分。まずはツルを『うんとこしょどっこいしょ』と引っ張り『お芋を掘るぞー』とシャベルなどで掘っていくと次々にお芋が見つかり大喜び。近くで見学していた乳児組にお芋を見せたり、なかには20cm以上のお芋も出てきて自分たちの顔と比べたりしていました。最後にはツルでリースを作り、頭に乗せてポーズをとっていました。

